



2000年02月01日

**フォルクスワーゲン ジャパンが7人制ラグビーの国際大会をフルサポート  
“VOLKSWAGEN WORLD SEVENS 2000”**

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社(略称:VGJ、代表取締役社長:ピーターノッカー)は、本年度開催されるラグビーの国際大会“VOLKSWAGEN WORLD SEVENS 2000”をスポンサードし、(財)日本ラグビーフットボール協会との相互協力のもと、年間のラグビー イベントを盛り上げつつ、国内の高校ラグビー普及活動をサポートしながら、スポーツ マインド溢れるフォルクスワーゲン ファンへの訴求を図っていきます。

日本におけるラグビーについては、秩父宮ラグビー場で年末年始繰り広げられる大学選手権や、社会人大会、日本選手権などを通して、永年にわたり広く日本中で認知されたフィールド スポーツの一つといえます。今回フォルクスワーゲン ジャパンがフル スポンサーする“セブンス”は、新時代にマッチした7人制ラグビーで、フォワード3人、バックス4人からなり、短時間に設定された7分ハーフという試合時間(決勝は10分)によって、スピーディーかつエキサイティングなゲームが展開されます。

通常15人で構成されるメンバーを、その約半分にしたことから“セブンス”と呼ばれているこのスポーツは、本来ラグビーの練習用として始められたものですが、日本においてもこの“セブンス”の歴史は古く、関係資料によると1930年2月に行われた、鉄道省関係の大会にまでさかのぼることができる伝統のあるスポーツと言えます。また現在では、世界各国で盛んに行われるメジャー スポーツへと進化し、毎年大規模な国際大会まで開かれるようになってきました。

この様に永い歴史と伝統を誇り、今ではその血統に恥じない新しいスポーツとして、日本でも大きく花開こうとしている“セブンス”のダイナミズムは、フォルクスワーゲンが永年作り続けているビートルと、その復活で世間を騒がせているニュービートルやフォルクスワーゲン自体の伝統と同じように写ります。

フォルクスワーゲン ジャパンは昨年、永年にわたり今だ幅広いファンを魅了して止まない世界的なギタリスト、“エリック クラプトン ジャパン ツアー”をサポートすることによって、新たに音楽を趣味とするフォルクスワーゲン ファンにメッセージをお伝えすることができました。今年はまだ一つの重要な文化であるスポーツ フィールドに進出し、現在のフォルクスワーゲン グループが放つ世界的規模の関心により、多くのスポーツ ファンに対してフォルクスワーゲンのメッセージを送り続けていきたいと思えます。

**“VOLKSWAGEN WORLD SEVENS 2000”**

2000年4月1日(土)～2日(日) 東京 秩父宮ラグビー場

参加国(あいうえお順)

日本(主催国)、オーストラリア、カナダ、韓国、サモア、シンガポール、スコットランド、スリランカ、ニュージーランド、中華台北(台湾)、フィジー、フランス、香港、マレーシア、南アフリカ、USA